

コミュニティ学専攻

小木曾ゼミ

ゼミ紹介

小木曾洋司



～地域社会に生きる～

はじめに

こんにちは。

コミュニティ学専攻で「地域社会」をテーマに研究しているゼミの紹介です。

この写真は、社会調査実習の時に撮ったもので、桜と紅葉をいっぺんに見ることができる少し不思議な豊田の観光地です。

この場所もまた、地域の人々の管理によって支えられています。

写真：愛知県豊田市小原町 四季桜



村の子どもたち

乳児はツグミ
その遊びを通して仲間意識

①



家郷の訓

宮本常一著



著者(1907 - 81)の故郷である山口県大島の明治末から大正にかけての暮らしの中に、子どもの躰のありようを描いた出色の生活誌。「忘れられた

日本人」をはじめ多くの優れた業績を遺した宮本民俗学の原点を示す書であり、子ども・民俗・教育に関心をもつ人への格好の贈り物。故郷の風土を克明に描いた「私のふるさと」を併収。(解説 = 原ひろ子)

ゼミ (2年生) ~村に生きる~

日本人がまだほとんど村社会で生きていたころ、村は生活を維持するために最も重要な基盤でした。

食料を得る田畑へ川の水を供給する規則は村で決めていましたし、道路や薪をとる共同の山の規則もやはり村が管理していました。

そういう助け合いの形をもっている村では、村の規則を受け継いでいくために、子どもの頃から「躰(しつけ)」がなされていました。

子どもが村社会でどのようにしつけられ成長して一人前になっていくのかを見ていきながら、今の社会のあり方を考えます。



青 164.2
岩波文庫



自治と協働からみた現代コミュニティ
世田谷区まちづく

自治と協働 からみた 現代コミュニティ論

世田谷区まちづくり活動の軌跡

小山弘美

ゼミ（3年生）

～都市のコミュニティを生きる～

3年生では、都市の中の地域社会を考えます。

村のような比較的強いつながりがなく、個人が自由に生きているように見える都市の生活の中にも、コミュニティ形成への住民の活動や運動があることを見ていきます。

テキストの例では、東京都世田谷区のプレーパーク（冒険遊び場）の住民活動を通して、住民が新しいつながりを形成し、新しい街の形を模索している姿があります。

第4章

住民発意の活動と行政との協働
——プレーパーク活動を通じたまちづくり



秋の夜長を楽しむイベント「お月見茶屋」（駒沢はらっぱプレーパーク）

未来を変えた島の学校

山内道雄 岩本 悠 田中輝美



未来を変えた島の学校



9784000248761



1920037016005

ISBN978-4-00-

C0037 ¥1600

定価(本体1600円)

地域包括ケアのまちづくり

老いても安心して住み続けられる地域を目指す総合的な試み

東京大学高齢社会総合研究機構 [編]



超高齢人口減少社会への挑戦

「柏プロジェクト」では、人生100年時代にも安心して暮らし続けられる地域包括ケアのまちづくり実践が行われてきた。本書から、生きがい、就労、フレイル予防、在宅医療・介護連携、生活支援などについて、産官学民による協働の意義と展望を深く学ぶことができる。

田中 滋 (埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授)

東京大学出版会

ゼミ（4年生） ～「地域社会」を料理する～

4年生のゼミでは「卒業研究」を仕上げます。
各自が自分の問題を設定し、その回答を文献や調査によって探す作業です。
近年の例をあげると、スポーツやアニメによる地域振興の方法、過疎地の地域振興、高齢社会における地域福祉とケア、コミュニティデザイン、震災復興における女性の役割、環境問題などの研究課題があります。

岩波書店



岩波書店



ありがとうございました
…

写真：愛知県豊田市足助町 香嵐溪